

念書 一般版 完全版【記入例】

田中太郎による100万円借用念書 / 完成形サンプル

これは記入例です。実際の内容はご自身の状況に合わせて記入してください。

山田 次郎 殿

念 書

私 田中 太郎（以下「甲」という）は、山田 次郎（以下「乙」という）に対し、下記のとおり誓約します。

【誓約事項の概要】

乙から借り受けた金100万円を、令和8年5月31日までに返済することを誓約する。

【誓約事項の詳細】

1. 甲は、乙より令和7年5月12日付で金100万円（金壹百万円）を借り受けたことを確認する。
2. 甲は、上記借入金を以下のとおり返済する。
 - ・返済方法：元利均等月賦（毎月末日）
 - ・返済期間：令和7年6月から令和8年5月まで（12回）
 - ・各回返済額：約85,000円（金85,150円）
 - ・利息：年利10%（利息制限法の範囲内）
 - ・振込先：みずほ銀行 神田支店 普通 2345678 名義 山田次郎
 - ・振込手数料：甲の負担

【期限・期間】

最終返済期日：令和8年5月31日

【違反時の措置】

1. 甲が支払を1回でも怠った場合、期限の利益を喪失し、残債務全額を直ちに支払う。
2. 期日経過後、遅延損害金として年14.6%の損害金を支払う。
3. 本念書を公正証書とし、強制執行認諾文言を付すことに同意する。

【その他】

1. 甲は、住所・連絡先を変更した場合、速やかに乙に通知する。
2. 本念書に定めのない事項は、甲乙誠意をもって協議する。

以上、念のため本念書を差し入れます。

令和7年5月12日

住所 東京都千代田区サンプル町1丁目2番地3

氏名 田 中 太 郎 実印

このサンプルのポイント

- ・借入金額を漢数字併記（金100万円・金壹百万円）で改ざん防止
- ・返済方法を5W1H（誰が・いつ・どこに・何を・どうやって）で完全特定
- ・利息は利息制限法の範囲内（年利10% < 100万円未満 年利18%上限）
- ・期限の利益喪失条項で延滞時の即時全額請求を確保
- ・遅延損害金は利息制限法上限（年利14.6%）に設定
- ・公正証書化に同意 後日公証役場で強制執行認諾付公正証書に変更可能
- ・住所変更通知義務で逃亡対策

公正証書化フロー（推奨）

- ・Step 1: 本念書 + 双方の身分証明書 + 印鑑証明書を準備
- ・Step 2: 最寄りの公証役場に予約・本念書を持参
- ・Step 3: 公証人と打合せ・公正証書原案作成
- ・Step 4: 双方出頭・署名押印で公正証書完成
- ・Step 5: 手数料 約11,000円（100万円の場合）
- ・Step 6: 滞納時、公証役場から執行文を取得 給与差押え等の強制執行可能